

報道関係者各位(参考情報)

2021 年 6 月 22 日

横浜本社で職域接種を開始

新型コロナウイルス感染症ワクチン

「安全安心」な接種を最優先に



株式会社ファンケルは 6 月 22 日(火)から新型コロナウイルス感染症ワクチンの職域接種を横浜市中区の本社で開始しました。接種の対象者は、ファンケルグループの従業員や家族などのうち、接種を自ら申し込んだ約 2,400 人です。8 月 1 日(日)までの期間のうち 14 日間(土日 4 日含む)で一日最大で約 340 人に接種を行います。安全安心で事故のない接種を最優先に、医師は 2~3 人、看護師は 9 人体制で対応します。接種時の緊張や不安を軽減するため、会場にはリラックス音楽を流すなど、当社ならではの工夫も行います。引き続き高い緊張感を持って、新型コロナウイルスの感染防止に努めてまいります。

◆接種は強制でない旨を明示、重症化リスクの高い人から優先予約

当社では政府の職域接種開始の方針を受け、6 月 3 日に実施を決定。申請受付初日の 6 月 8 日に政府へ申し込みを行いました。医師や看護師の確保などに目途がついたことで、6 月 14 日から従業員からの予約受付を開始しました。予約はウェブを通じて従業員が個々に行い、接種の有無の個人情報保護しています。予約前に「ワクチンの接種は強制ではありませんので、ワクチン接種に同意(理解)して、希望する人のみ接種を受けてください」と希望者のみの接種であることを明示しました。また、6 月 14 日と 15 日は、重症化リスクの高い 60 歳以上と基礎疾患を持っている従業員に限定して予約を行いました。6 月 22 日 9:00 時点で 2,074 人が予約しています。

◆「予診」「接種」「経過観察」でブースなど配置。不安を軽減する独自の工夫も

接種準備にあたっては、永坂順二管理本部 本部長を中心とするプロジェクトを発足させました。看護師の資格を持つ保健師を中心に準備を進め、当日の役割をもとに7つのチームを構築して、安全安心な接種を最優先に多岐にわたる準備作業に取り組みました。

会場には、額を近づけるだけで体温を測れる自動体温計やアクリル板などを設置。マスク着用や消毒などの基本的な感染対策を徹底しています。①受付②予診③接種④経過観察に分けて設営しており、2回接種などの事故が起こらないように導線を1方向にしています。

医師は主に②予診④経過観察を担当。看護師や薬剤師が③接種とワクチンの充填を行います。接種予定者は、若い女性が多く、接種時の緊張や不安を軽減するため、会場にはリラックス音楽を流すほか、経過観察ルームでは顔色や身体の変化を見逃さないための席の配置を行っています。また、気分が悪くなった際に横になって休めるように、救護室を設置してベッドを5台用意、看護師が常駐します。接種は12:30～17:00までで、一日当たり最大約340人に接種を行う予定です。

接種時間は就業扱いとしており、本社までの交通費は会社が負担します。特に2回目の接種の後に副反応が多いことを踏まえ、2回目接種の翌日に体調不調となった場合は、有給推奨を告知しています。

◆自衛隊東京大規模接種センターを見学してプランを構築

準備にあたっては、6月12日(土)に東京都千代田区の手町合同庁舎3号館に開設している自衛隊東京大規模接種センターを見学させていただきました。同センターでは、1日1万人超がワクチンを接種可能で、使用しているワクチンは職域接種と同じモデルナ社製です。このセンターで自衛隊の医官などの方から、会場のレイアウトや導線、ワクチンの保管や管理、救急用に必須な物品やアナフィラキシーショックの発生など緊急時の対応、さらに一日当たりの体調不良者の発生頻度などについて、大変細かく丁寧なご説明をいただきました。ここでのレクチャーを踏まえて、当社の接種プランを構築しています。このほか政府や医療従事者の方にもさまざまなご助言とご尽力をいただきました。この場を借りて、関係者の方々に心より御礼申し上げます。

引き続き高い緊張感を持って、新型コロナウイルスの感染防止に努めてまいります。



【川口貴浩総合現地調整所長(当時、中央)と弊社の保健師】

本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先

株式会社ファンケル 経営企画室 広報部

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202 / <https://www.fancel.jp/>